

第6回 SATサイエンス・カフェのご案内

日時： 平成30年3月9日(金) 17:30~19:50

場所： つくば国際会議場1階のレストラン「エスポワール」

話題： 「南極観測の仕事と生活」

産業技術総合研究所の南極観測経験者である石塚 徹氏と、
星野 保氏から、下記のような話題を提供して頂く。

参加費： 500円(ワンドリンク付き)

申込方法： 氏名、所属、連絡先をつくばサイエンス・アカデミーまで連絡ください。
(電話 029-861-1206 または academy@epochal.or.jp)

(1)南極観測と越冬隊の仕事と生活(石塚 徹氏 第34次越冬隊)

日本の南極観測の歴史と4観測基地の概況、昭和基地周辺における四季や、観測隊の仕事と生活の実情などを、越冬隊の体験等を含めて紹介して頂くと共に、 -60°C 以下にも達する極寒の冬季に使用する防寒服の実物に触れて観る。また、太古の空気が凍結保存されている氷床と3000mのアイスコアから分かる過去の気候変動などについて解説して頂くと共に、昭和基地周辺で掘削され数万年前の空気が閉じ込められている南極の氷を実際に手に取り、ピチピチと音を立てながら解放される太古の空気に触れて楽しむ。

(2)南極で採取した微生物の不思議な性状とその応用(星野 保氏 第48次夏隊)

昭和基地周辺で観察される動物や植物等の生態、氷河により形成された湖に棲む生物の生態、その底で大草原のように観察されるコケボウズの実態、湖沼堆積物中の担子菌酵母等菌類の実相、コケボウズの形成がある種の酵母が冬季の寒冷期に対応するための南極特有の代謝に起因するものであることなどを紹介して頂く。また、冬季の温度低下による生物活性の低下など寒冷地における排水処理の問題点について概説して頂くと共に、乳脂肪の分解などへの南極採集微生物の応用など、その成果を紹介して頂く。

